

静岡デザイン専門学校

学校自己評価報告書（令和7年度分）

1. 教育理念・教育目標

〈 教育理念 〉

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

〈 教育目標 〉

教育基本法に則り、学校教育法に従い、服飾並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成することを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

〈 目標・計画 〉 ※令和7年度 実績報告書参照

1. 専門学校グループの目指す”県下 No.1 の圧倒的な教育力”につながる、本校の「教育の質のさらなる向上」を図る。
2. 安定した経営のために、目標定員必達と学生の質向上の両立に向けた募集活動を実践する。
3. 柔軟でスピード感を持った、御幸町移転を実現・維持出来る強い組織へと成長する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

※各項目に対しての成果と課題については、通し番号①～で記載している。

（1）教育理念・目標

評価欄

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は示されているか	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

①②教育理念並びに教育目標は入学時に配布される学生のしおりに記載されており、入学時のオリエンテーションで入学生全員に周知している。また、学校ホームページ（以降は学校HP）の学校情報でも公開している。

⇒公開情報 | 静岡デザイン専門学校 (sdc.ac.jp) p

・教室には教育理念をスローガン化した『好きな道でプロになるために身につける5つの力 ①デザイン力②ビジネス力③社会人基礎力④テクノロジー活用力⑤社会貢献力⇒未来を生き抜く力』についての掲示を行い学生・教職員の目に触れる環境となっており、必要な時に想起することができるようにしている。

③2022年度、2024年度とアジャイル方式で全学科新カリキュラムをスタートさせた。すぐに見直しを行うことで、実情のニーズに合わせた取り組みを組み入れやすくなっている。

④⑤学校・学科のディプロマポリシー（卒業認定/専門士授与の方針）並びに、学校・学科のカリキュラムポリシーを学校HPの学校情報掲示スペース内で公開しており、教育目標、育成人材の方向性を示している。

今後の改善方策

- ・この状況を維持・継続するとともに、さらに徹底を図っていく。
- ・定期的に点検し、時代に合っているかを見定めていくことが必要。

学校関係者 評価コメント

- ・県下 No.1 だけでなく、中部エリア No.1 を目標に掲げてはどうか。（東海4県）

- ・学校のHP、パンフレットからも取り組みについて細かく記載されていると感じています。親からしても「この学校で学び成長してもらいたい」と思える内容だと思います。
- ・適切に進められていると思います。
- ・時代に合わせて対応できている様に思います。
- ・学生にとってのキモとなる部分。柔軟に対応できていると思います。
- ・スローガンなどわかりやすい言葉で伝えていきたい
- ・常に理念や目標を学生達の目に触れる場所に掲示・周知している事は良い。

学校関係者評価平均

4

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
2-11	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
2-12	目標に到達しない学生に対し適切なフォローがなされているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①①文部科学省が推進する職業実践専門課程へは7学科（CGデザイン科、美容科、ヘアメイク科を除く）が認定されており、それに伴う教育課程編成委員会を年2回開催している。この委員会で企業委員からの有益な意見をカリキュラムに反映しシラバスを改訂した。学生には学校HP上で公開している。CGデザイン科については前倒しをして前年度より委員会を開催し、美容科ヘアメイク科についても同じく開催した。それぞれ完成年度の次の年度に申請できる。
- ②学習到達レベルについては、学校HP/学校情報/ディプロマポリシーにて示されている。学習時間は学校HP/学校情報の2. 各学科の教育にて示されている。
- ③学科ごとカリキュラムポリシーに沿って体系化され運用がなされている。

④全学科に実務経験のある講師による授業を実施している（学校HP/実務経験のある教員等による授業科目の一覧参照）。 ⑤全学科に産学連携をカリキュラムに取り入れており、外部と協同での授業を実施している。 ⑥期末ごと授業アンケートを実施し、フィードバックしている。 ⑦成績評価・単位認定基準はシラバス並びに成績評価の客観的な指標で明確にしている（学校HP/シラバス、成績評価の客観的な指標参照）。 ⑧学科ごと業界で必要とされる資格をセレクトし、その資格を取得するための授業を設定し実施している。 ⑨教員採用時には実績・人間性を確認した上で採用している。また、新任研修やOJT教育によって教育の質を維持する取り組みを行っている。 ⑩校内研修を定期的実施し教育スキルの維持に努めている。また、専門性スキルを維持するために外部研修予算を用意し、それぞれに見合った研修に参加している。 ⑫正規授業以外に補講などを実施して底上げを行っている。
<u>今後の改善方策</u> ・教育課程編成委員会を開催するにあたり、委員から関係者の紹介など業界の方々と広くつながる機会となっている。様々なご意見を伺うため、引き続き委員の増員や更新を図りたい。 ・学生自身が成長を自覚できるように授業内でのフィードバックなど充実を図りたい。 ・様々な実績のアーカイブ・共有に取り組み、広報しやすい環境を作る。
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・産学連携プログラムのさらなる拡充が、学生の卒業後の進路決定に重要になると考えます。 ・授業の評価、先生方の指導力育成、授業アンケートの実施とフィードバックに取り組まれていることで、質の高い環境で授業・教育がされていると感じます。 ・近頃は「地元を大切に人（学生）」が少ないのでは…と同世代の人々を見て思うので、静岡の文化や歴史などに関わる機会が多くあると良いと思います。 ・適切に行われている様子が伺えます。進化している（AI）等の対応も今後は必要に思われます。 ・学生とのコミュニケーションが重要だが、しっかりと対応できていると評価します。 ・学生が学ぶ成長するため、環境やフォローは非常にきめ細かく整備されているかと思えます。これらの取組に対する学生の反応や声をもっと収集する仕組みがあれば、更に良いと思います。 ・時代に合った教育、社会に出て必要とされる人間教育が、しっかり実行されていると思います。 ・適切だと思う。専門性の高いジャンルは、外部から取り入れている事ができている。

学校関係者評価平均

3.9

（３）教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	3
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
学校自己評価 平均		3.75

成果と課題

- ① 就職率の向上を図るため、全教職員が一丸となって指導にあたった。関連分野就職率目標 90%を掲げ、結果は 91.3% (前年 91.1%) となった。全体の内定率は 100% (前年 100.0%) とわずかに例年を上回る結果となった。
- ② 資格取得に対しては、各学科が計画的に授業を構成し指導にあたっている。ほぼ前年並みかそれ以上の取得率を確保した。一部上位の資格については、全国平均を下回るものもあったため次年度以降授業ボリュームなども見直しを図りたい。
- ③ 退学率低減のために、個別面談を行い早期に学生が抱えている問題を解決するよう努めた。年度末の退学率は 3.6% (留年休学者除く。含めた数値は 4.1%) となり目標の 4.0% 以内を達成できた。前年度 6.3%、前々年度 4.0%。
- ④ 新聞や SNS 等による情報発信を注視したり、教員などが個別に連絡を受けたりと卒業生の活動を確認している。また、在校生については 1F・8F 展示スペース等を利用して作品展示を行った。

今後の改善方策

- ・学生がよりスムーズに企業とのマッチングが進むようキャリアマップという専門学校に特化した就職支援ツールを導入した。今後は本ツールの活用を促していく。
- ・オンライン就活のため、引き続き PC 前でも面接がスムーズにできるよう学生指導を行う。
- ・各業界で今後必要とされる人物像も変化している。それらを把握しカリキュラムに反映させるため、企業との接点を増やし、情報収集を行う。
- ・学生の就職に対する意識が多様化しており、個々の学生の特性に合わせた、よりきめ細かな就職指導を行う。
- ・インターンシップを利活用し、早期内定に結びつけるとともに、教員の企業訪問による情報収集の場としての役割も強化していく。
- ・退学率軽減のために、早期面談の実施、学校への適応感を高める、明確な目的意識の醸成、目標の抽象度を上げる、周囲とのコミュニケーションを密にする、授業内や課題制作での相互コミュニケーションを活発にする、外部のオンライン学習動画を活用する、など様々な取り組みを実施する。

学校関係者 評価コメント

- ・1F 展示スペースの認知度アップと、地下通路ショーケースの活用を考えても良いのでは。
- ・資格取得率について、夏期間の学習で試験に臨んだものがありました。テキストボリュームがあったので、本人も勉強が大変だと言っていました。もう少し余裕のある期間で勉強できればと思いました。他の課題もあるのでは。
- ・退学率の低減が図られた事は良かったと思う。
- ・就職率も向上しており、成果が上がっている。また、卒業生に対してのフォローアップもされている。
- ・学生の不安解消がポイント。適切に対応できていると評価します。
- ・社会に求められる教育は、技術と人間力だと思います。学内での挨拶が少なく感じます。コミュニケーション能力を高めて欲しい。

学校関係者評価平均

3.9

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4

4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
4-10	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u> ①常設の進路指導室を設置し、学生の就職相談には常時対応している。二人体制で進路活動支援・求人開拓を行っていたが、退職により1人態勢となった。令和8年度からは異動により二人体制となっている。校内企業ガイダンスを年1回実施し、姉妹校の開催するガイダンスについても学生に伝達・サポートしている。 ②学生面談は入学生に対しては、入学後早期に面談を実施している。スクールカウンセラーは、前期：毎週月、後期：毎週水曜に来校し学生からのカウンセリング希望に対応している。また、スクールカウンセラーからの情報提供紙として『メンタルヘルス』を毎月発行し、学生及び教職員に配布している。入学前にはスクールカウンセラーのセミナー映像配信も実施し、入学への不安軽減に努めた。 ③学生の経済的側面に対する支援として日本学生支援機構の奨学金制度・国の教育ローン等の案内を学生・保護者に対して紹介している。学校法人で取組んでいる学費サポートプランについても書面及び口頭で説明している。 ④職員室横に保健室を設置しており、保健室管理担当者が日常の体調不良に対応している。 ⑤保護者とは、後援会総会や各種イベント開催の案内を通して学校の状況を知らせている。連絡ツールとしてAn p i cを活用している。また積極的にマス媒体に露出することにより、保護者に学校の活動状況を告知している。 ⑥卒業生に対しては卒業後の就職活動支援や、アルバイト募集への協力、情報の問合せへの対応等を行っている。今後は卒業生でも求人票を閲覧できるキャリアマップという就活ツールを利用する。 ⑦高専一貫コースを設定して高校生への職業教育を実践している。 ⑧就職活動の一環として、グラフィックデザイン科・CGデザイン科は、We bポートフォリオを作成・公開し、就職活動につなげている。 ⑨球技大会、日本平動物園見学、などの課外活動には担当教員、クラブ活動に対しては顧問を付け、支援活動を行っている。 ⑩高校教員や、各種団体から講座依頼があり実施実績がある。また、一時休止しているが、社会人向けの洋裁講座を実施できる環境を整えている。		
<u>今後の改善方策</u> ・企業とのリレーションレベルの向上など就職支援活動をどのように行うことが効果的か検討していく必要がある。 ・SNSを活用した卒業生とのコミュニケーションを利用し、相互の協力体制をシームレスになるよう工夫する。 ・教育費負担軽減制度が令和元年度よりスタートした。更新手続きを継続して行う。		
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・学生がより気軽に進路・就職について相談できる態勢づくりを進めていただきたい。またSNS等でのリテラシーを高める取り組みを取り入れていただきたい。 ・学生・保護者・卒業生への支援はとても充実していると感じます。一部学校から連絡がなく、どうすれば良いかと思った案件がありましたが、全体での判断としてはとても良いと感じています。		

- ・卒業生の就職支援やアルバイト募集など、もっと広まると良いと思います。
- ・就職、健康、教育、高校生へのアプローチ、学外活動と、様々な支援ができています。
- ・学生の不安解消がポイント。
- ・学生が質問しやすいと感じられている環境だと分かりました。
- ・学生達への支援は、細かな所まで考えられていて良いと思います。
- ・授業への評価などアンケートや声を聞くことでフィードバックできている。スクールカウンセラー等、メンタルヘルスへのサポートも整えている。

学校関係者評価平均

4

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
5-6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①講義室、実習室には教室担当者を決めて管理し、定期的で大掃除、片付けなどのメンテナンスを行っている。
- ②すべての教室は学生に自由開放し、自習が可能な状態となっている。教室だけでなく各階にパークと呼ばれる共有スペースを確保し、10～20人程度はいつでも利用できる環境となっている。
- ③ミシン、レーザー加工機などの機器は年に1～2回専門業者がメンテナンスを行い必要な修繕を実施している。
- ③各教室・実習室にはホワイトボード、モニタ、プロジェクタ等設置されている。
- ④Wi-Fi環境を整え、どの教室でも安定してインターネット接続でき教材の共有など授業の精度も上がっている。
- ⑤定期的な防災訓練の実施、保存食の備蓄、常備薬の定期的補充など、防災に対する体制は整備されている。8階には車椅子を2台設置している。他にも蓄電器2台を常設しており停電時のバックアップ電源を確保している。
- ⑥職務分掌で担当者を任命し体制を整え運営している。

今後の改善方策

- ・新校舎移転後、管理できている。
- ・いざという時に教職員が発電機を実際に使えるよう定期的な訓練を実施する。
- ・従来からの就職先とのパイプを確保しつつ、インターンシップ先の新規開拓も引き続き行っていく。

学校関係者 評価コメント

- ・AED使用方法、救命等の実習が有ると良いと思います。
- ・非常に良い、質の高い環境で学ばせていただいたことにとても感謝しています。ありがとうございました。業者による機器点検を月1～2回実施しているとのこと、メンテナンスもしっかりされていて安心です。学生向けに機器使用にあたっての教育（安全教育）はされているのでしょうか？
- ・しっかりとした環境が整っていると思います。
- ・新校舎となり、各備品等もきちんと揃えられている様子が伺える。
- ・設備、ハードに関わるものは常に更新、メンテナンスが重要、大切なのでしっかりと対応してください。

- ・学内の設備、教室内外の環境は良いと思います。常に清潔に保たれていて気持ちが良い理由になっています。
- ・場所や施設設備など他の学校と比べても整備されていてよい。

学校関係者評価平均

4

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①入学案内をする学校パンフレットは毎年更新し、必要な情報を適切に掲載している。また、学校HPにおいても必要な情報を提供している。
- ②学生募集については教職員一丸となって取り組んでおり、広報資料・募集要項の内容等は毎年更新している。
オープンキャンパスは3月から12月まで開催した。内容はその都度学科内で検討し、集客に努めた。
- ③広報担当を中心にオープンキャンパスの開催方法を工夫し、実施した。学科ごと入学者のバラつきあったものの定員320名に対して358名（前年度306名）の学生が集まった。
- ④オープンキャンパスにおいて、必ず学習成果を見える化した資料を用意し説明した。
- ⑤他校と比較しても高すぎず、安すぎず妥当な水準を保っている。

今後の改善方策

- ・募集活動にて提示する各情報においては、内容の正確性、適切さ、正確性など配慮していくことを引き続き行う。
- ・オープンキャンパスなどの募集活動についても適切に運営していく。

学校関係者 評価コメント

- ・費用対効果の検討も必要ではあるが、プラザ・TCA ヴィジョンでの学校紹介は認知度アップに効果あるように見えます。
- ・今年度も入学者が多いことから、静岡が誇りに思う良い学校だなと、考えていると思いました。私も機会があれば静岡のアピールをしています。「子供を入学させて良かった」と今も思っています。
- ・オープンキャンパスに人がちゃんと集まっている様子なので問題ないと思います。
- ・募集人数を上回る学生が集まっている。
- ・ツール等も重要ですが、風評など社会的評価も重要
- ・各学科等、オープンキャンパスにおける取り組みが素晴らしいと思います。歴史ある学校だからこそ、多くの実績を残している卒業生の活躍も広報して下さい。

学校関係者評価平均

4

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意思決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4
<u>成果と課題</u> ①職員は年度初めに目標シートを作成し、年度末に成果を自己評価する。目標シート作成時と自己評価時に上位者が面談して教職員の能力、業務内容をチェックする仕組みがある。 ②学校法人全体を統括する理事会・評議員会は年3回、5月・9月・2月に定期的実施され、議事録は適切に作成され、管理されている。組織間の連携は、校長会及び部会（進路、教育、広報）を中心に十分な連絡会が持たれている。事務局機能として専門学校事業室が機能し、全体の連携をさらに円滑にしている。 ③災害時連絡ツールとしてはA n p i cを利用している。 ④防災計画は年度ごと見直しを行い防災マニュアルに反映し、非常時の危機管理対策について周知徹底している。防災訓練は年2回（地震、火災）必ず実施している。またAEDは学校1F、8Fに配置されており、全教職員がAED講習を受講しAED操作の訓練を行っている。 ⑥事業計画に沿った運営方針を定め、学校運営を行っている。 ⑦就業規則などの諸規定は整備されており、一部抜粋が規定集として全職員に配布され、またすべての規定集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。 ⑧人事、給与に関しての規定が整備されている。 ⑨職務分掌の制定によって、教務・財務の意思決定がなされている。 ⑩教育活動の成果は積極的にプレスリリースし、多くの取材にも応じている。例年40～50件ある。また、学校HP上でも情報は適宜公開している。 ⑪情報のデジタル化が進み、業務の効率化、資源の削減が図られてきた。会議資料ではほぼ紙を使用しない。 ⑫中長期の学校運営計画を元に収支計画を立て運営している。		

⑬次年度の当初予算・収支計画を立て法人本部で審議した上で予算執行を行っている。執行状況をみながら年3回補正を行っている。 ⑭財務状況についての会計監査が実施され、適切に運営されていることが証明されている。 ⑮学園の財務情報については、学校HP上に公開されており常時閲覧可能となっており、財務分析比率は適切な数値となっている。 ⑯年2回、監事監査が行われており、法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかのチェックがなされている。 ⑰個人情報を使用目的等を明示したうえで収集、利用、廃棄しており適切に管理している。成績を付ける際の名簿のやり取り時にはパスワードを設定している。また、入学時に本人が希望した場合に個人が特定できる情報公開をしないようにするための要望書を提出させている。 ⑱年度初めに必ず自己評価を行い、併せて学校関係者評価委員会を開催して意見をいただいている。前年度の振り返りを行い絶えず問題点の改善に努めている。 ⑲自己評価結果は学校HPで公開している。 ⑳ハラスメント委員を4名配置し、すぐに相談できるよう担当名と連絡先を掲示している。	
<u>今後の改善方策</u> ・AEDについては定期的な講習を行い、非常事態に備える。 ・本部情報管理担当が学内ネットワーク管理等しており、専門性の高い職員が担当している。密な連携をとり、漏れの少ないよう情報共有を進める。	
<u>学校関係者 評価コメント</u> ・外部からのハッキングに対する対策は取られているのでしょうか？ ・先生方も目標シートを作成し、年度末に自己評価と面談をされているとのことで、自己研鑽の体制が取れていると感じました。半期に1度、現状の確認とその後も同じ目標で進んでも良いかの確認があっても良いかなと思いました。 ・適切にできていると思います。 ・教職員の能力判定等、きちんとマニュアル化されている。HP等での情報も発信されていてOPENで良い。 ・複合的な運営管理をそれぞれの職員がある程度把握することも重要。 ・学生の教育環境が充実されている一方で、教員の育成・教育に対する具体的な取り組みが相対的に低いかなと思いました。 ・適切と思う。学生へのヒアリングもしっかりできている。	
学校関係者評価平均	3.9

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
8-4	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
8-5	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
学校自己評価 平均		4

成果と課題

- ①大道芸ワールドカップ、リバウエル井川スキー場などのポスター制作や、TGC、クリスマスフェスタ等地域のイベントに積極的に参加し、地域貢献を図ってきた。中学校からの依頼によるキャリア教育、高等学校から依頼によるデザイン関連体験授業等にも対応している。
- ②留学生の受入体制については、留学生担当を設け対応している。また、出入国在留管理庁への報告事項も適正に行われている。出入国在留管理庁より適正校であることの文書が届いている。
- ③分掌担当を配置し、適切に体制を整えている。
- ④本部の地域協働センター主導であるが子供向けの仕事体験フェアの実施など地域に対して公開講座を実施した。
- ⑤ボランティア等の依頼については、Teams で専用チャネルを作成、一斉連絡し募集案内を行ったり校内掲示を行ったりして積極的に参加を募っている。

今後の改善方策

- ・様々な活動へ積極的に参加する学生を支援する体制を学内に整える。
- ・留学生は日本の慣習が分からないことも多いため、日常生活に関するサポート体制を充実させる。また、留学生同士が助け合える環境を用意する。

学校関係者 評価コメント

- ・ホールを使った映画上映等有ると、地元としてはうれしい。
- ・地域への貢献は新聞でも目にするので、とても積極的に取り組まれていると感じます。在学中にたくさんの経験ができるのは将来、貴重で社会に出てからも大いに役立つと思います。
- ・問題ないと思います。
- ・TGC に代表される学生の夢へとつながる取組もされていて良い。海外交流等、視野を広めていて良い。
- ・国際的なコミュニケーションなどをもっと広げられれば良いかと思います。
- ・積極的に社会との関わりを持つ機会を増やし、他校と比較しても、学生達の経験の積み重ねが出来ていると思います。国際交流の機会を増やして下さい。

学校関係者評価平均

4